



市長コラム

～未来への架け橋～

Vol.14

今年は記録的な豪雪となっており、市民の皆さんも、毎日の雪片付けなど、大変なご苦勞をされていることと思います。

先日オンラインで行われた田畑総務副大臣との意見交換では、当市の豪雪による影響について実状を伝え、財政的な支援などをお願いしたところです。

春の足音を感じる季節はもうすぐですので、市民の皆さんも、もう一息頑張っ、この冬を乗り切っていただきたいと思ひます。

★高齢者世帯等への除雪支援に参加しました！

昨年度から実施している市職員による「高齢者等の除雪困難世帯に対する除雪支援」についてですが、今年度は体制をより拡充させ取り組んでいます。これまで五所川原、金木、市浦の各地域において、合わせて150件を超える世帯への支援を実施しておりますが、90歳を超える方、80歳以上の一人暮らしの方など、依頼される方のほとんどが75歳以上の高齢者のみの世帯となっています。

私自身も、除雪隊の一員として除雪作業に参加し、数件の除雪を行いました。中には道路から玄関先までがほぼ雪で閉ざされ、孤立が懸念されるようなケースもありました。

そうした現実を目の当たりにし、地域における見守りや支え合いなどの「共助」がいかに必要かということに改めて実感しました。

当たり前の日常生活を維持していくことが困難な方々を支えるため、しっかりと目を配り、光を当てていかなければならないとの思ひを強くしています。行政として支援することはもちろんですが、引き続き、各地域コミュニティにおいても、可能な限り見守っていただきながら、子どもから高齢者まで地域全体で支え合う「地域共生社会」の実現のため、取り組んでまいります。

★家庭など身近なところでの感染が増加しています！

感染力の強いオミクロン株への置き換わりによる爆発的な感染拡大が進み、青森県においても新規感染者数が急増しています。とりわけ、これまで少なかった子どもの感染拡大が続いており、保育施設や学校等でのクラスターの発生から家庭内での感染へと複合的につながるなど、深刻さを増しています。

これまでにないスピードで身近に迫って来ているという危機感がありますが、感染を防ぐためには、日常生活における基本的な感染防止対策の徹底に尽きます。市民の皆さんには、体調不良の時は無理をしない、また、各家庭での感染予防、体調管理には最大限の注意を払っていただきますよう、引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。

★令和4年度における行政運営への思ひ

新型コロナウイルス感染拡大から約2年になりますが、一進一退を繰り返し、いまだ先が見通せない状況が続いています。一方で、ウィズコロナとともにアフターコロナを見据える時期にさしかかっているとも考えています。コロナ禍で直面したさまざまな課題を踏まえ、この経験をいかに生かすかが今後の行政に問われるものと思ひます。

現在、令和4年度の当初予算編成を進めていますが、私が注力したい施策として、各地域の物産や伝統文化など当市の内なる可能性を生かした地域振興、また、コロナ禍にあって地域コミュニティの希薄化に起因する高齢者施策や学校におけるいじめ問題への対策等を考えています。

行政へのニーズは、ますます複雑多様化しておりますが、根底にあるべきことは、心の通った思ひやりのある行政サービスであると思ひています。

このことを心に留め置き、これまで以上に市民の皆さんにより添い、市民目線の行政運営に努めてまいりますので、ご協力をよろしくお祈りいたします。



『田畑総務副大臣との意見交換』の様子



『高齢者世帯等への除雪応援隊』の様子